

アショロア発見 50 年

アショロアは発見・発掘されてから50年になります（1976年発見）。次に発見されたベヘモトプスも46年（1980年発見）。ほぼ半世紀が過ぎました。

これらの動物がデスモスチルスの祖先型の種類だとわかったのは、束柱類（そくちゅうるい）の特徴の一つであるせんべいのような平らな胸骨（きょうこつ）が見つかったからです。ここから足寄町の化石への取り組みが本格化しました。

「謎の動物デスモスチルス」の祖先、世界で1体しかないアショロア。ベヘモトプスと合わせて「足寄動物群の原始束柱類」として北海道指定天然記念物となったものの、未解決の問題はたくさんあります。

今博物館が取り組んでいるのは、

①骨の化学成分を分析して、何を食べていたかを突き止めること。化石の骨に含まれている脂肪分を分析して何を食べたかを調べるのです（2ページ参照）。束柱類全体の食性解明。海牛のように大きな謎が解けることになります。

②束柱類のなかでは化石がたくさん見つかったデスモスチルスの、年齢による（成長による）形の変化をみることです。具体的には高齢のデスモスチルス頭骨の復元です。高齢個体の頭は・・・おおきいのです。（夏のあいだロビーに展示します。）

束柱類がわかるとアショロアもわかる。逆のこともいえます。

2026年は次の50年の始まりでもあります。



展示室においた製作途中のデスモスチルス大型頭骨（白色）

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

指定管理者 NPO法人 あしよろの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目

TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

No. 171

2026年 7月7日発行

（年3回発行）

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

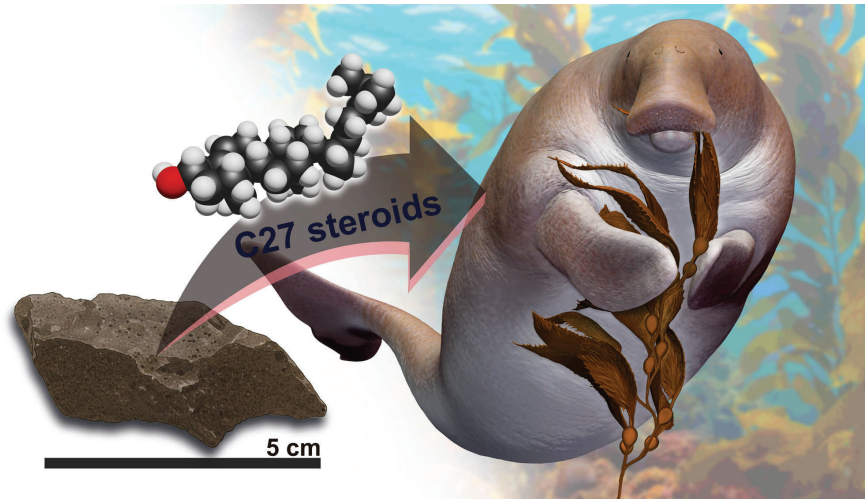
<http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp>（博物館だよりpdf版あり）

研究成果 続々

骨化石からカイギュウ類の食べ物が分かった！

北大との共同研究で、化石の中に残されたコレステロールなどの脂質から、その動物の食べ物が分かりました。

一般的に、化石動物の食性は、歯やアゴの形から推測されます。しかしこの研究では、カイギュウ類の化石（ジュゴンやマナティーの仲間）を用いて、以下の2点が示されました。

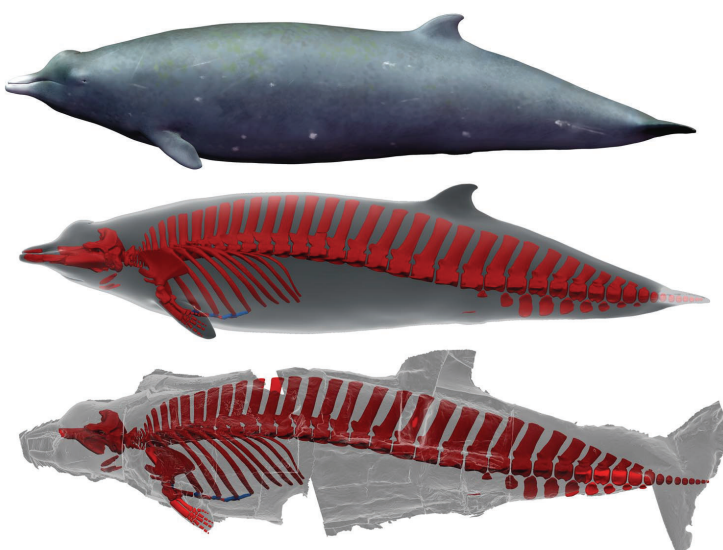


- ①骨の化石の中に、その動物由来の脂質が残っている。
- ②その脂質を調べて、昆布の仲間とアマモ類を食べていたカイギュウ類がいた。

同様の手法を用いることで、アショロアの食性も分かる可能性があります！

Shinmura, T., & Sawada, K. (2026). Paleodietary analysis based on stable carbon isotope ratios of lipids preserved in sirenian fossil bones from Hokkaido, Japan. *Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology*, <https://doi.org/10.1016/j.palaeo.2026.113809>

クジラの骨の配置を特定する新手法！



クジラの骨格は、実は良く分かっていません。それはクジラの体が大きく、CTやレントゲンで体の中を見られないからです。

そこでこの研究では、海岸に打ちあがったクジラの死体を、段階的に解体しつつ、3Dモデルにすることで、体の中に入っている骨の位置を明らかにしました。

今後この手法を使い、より多くのクジラの骨格が明らかになるでしょう！

Shinmura, T. (2026). Stepwise photogrammetric reconstruction of skeletal configuration in a beaked whale (*Mesoplodon carlhubbsi*). *Marine Mammal Science*. <https://doi.org/10.1111/mms.70007>

山の日セットには、ブラックライトで鮮やかに蛍光するユーパーライトと、世界で二番目に高い山「K2」にちなんだK2花崗岩のセットが今年も登場します。また、海の日セットには毎年恒例のアクアマリンセットに加えて、北海道の海岸で取れたメノウのセットも登場します。各時代を代表する化石のセットである三生代には人気の化石を集めました。

海の日直前の土曜日(7月18日)から提供開始です。お楽しみに!!

なくなり次第新しい種類に入れ替わっていくため、時期によって提供していない種類があります。ご注意ください。

山の日セット



ユーパーライト

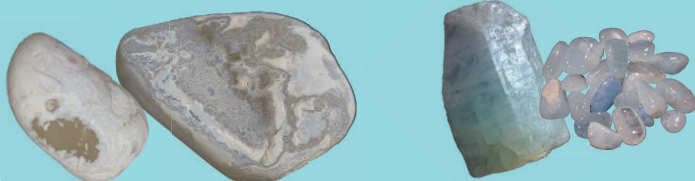
ブラックライトで蛍光する!

K2花崗岩

海の日セット

北海道の海岸メノウセット

アクアマリンセット



三 生 代

アンモナイトセット

モササウルスセット



大人の化石体験 この夏の石みがき 海と山

海の日3連休 7月18日から開始 「海岸めのう」

北海道の海岸では 運がいいとメノウのかけらが拾えます。大きめのものは、みがいてアクセサリーにもできます(写真)。

表面は海水と反応して白くなっていることがあります。縞模様はあるものもないものも。
研磨紙とセット1000円



山の日前の土曜日 8月8日から開始 「十勝石」

河原で見つけると 見かけは丸いのに表面はザラザラ・ゴツゴツの十勝石。割った面には「貝殻状」の模様がでます。この模様を残し、反対面をみがくように調整してあります。鉄鉱物の色もさまざま。
研磨紙とセット1000円



ナイトミュージアム

大人だけの参加大歓迎！子供が泣いても責任持てません。

と き：10月24日（土）

イベント：17：00～20：00

（入館17：00～19：00・イベント所要時間1時間）

ところ：足寄動物化石博物館

定 員：200名

持ち物：懐中電灯（ヘッドライト・ランタンでもOK）

参 加：無料

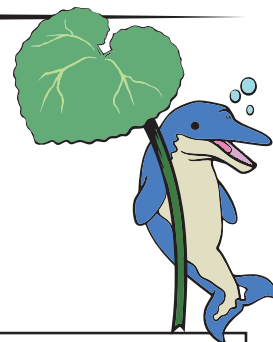
予 約：受付開始 10月1日午前9：00～
（博物館・0156-25-9100）

内 容：

- ミニチュア標本鑑定
（博物館内で標本鑑定オリエンテーリング！）
- ミニ発掘一つプレゼント！
（標本鑑定で正解した人限定！）
- 死者の日工作
（ペーパークラフト）
- 仮装をしてきた人には、死者の日シールをプレゼント！
- 館内撮影OK！

足寄動物化石博物館の利用について

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）
- 休 館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月28日から）・年始（1月4日まで）
※海の日から8月末までは、全日開館します。
- 料 金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円 幼児無料
足寄町民は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



足寄博発の研究が、どんどん公開されていていきます！ 今後も出る予定なので要注意！
夏の化石体験や、秋のイベントの告知も行いました。さて、準備をしようかな。